

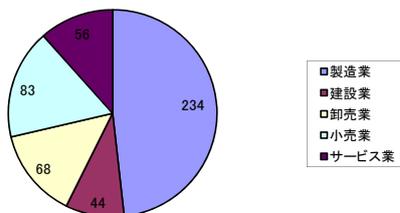
景気動向

業況は改善。
先行きは製造業、非製造業ともに悪化の見通し。

- 調査時点 平成24年4月調査(24年3月末時点)
- 対象企業 800社
- 回答企業 485社(回答率:60.6%)
(製造業234社、建設業44社、卸売業68社、
小売業83社、サービス業56社)
- 調査時期 四半期毎(3、6、9、12月末時点)

DI(Diffusion Index)値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値。

回答企業	
製造業	234
建設業	44
卸売業	68
小売業	83
サービス業	56



<全産業>

全産業の業況DI(12.1)は、前回(▲19.0)に比べて改善を示した。業種別では製造業の業況DI(6.0)は、前回(▲24.2)に比べて30.2ポイント改善した。建設業の業況DI(43.2)は前回に比べて横ばい、卸売業の業況DI(10.3)、小売業の業況DI(13.3)、サービス業の業況DI(14.3)はそれぞれ改善を示した。

各業種からは、「相変わらず原発事故による風評被害が収まらず、業況は好転しない」という声が多く聞かれる一方で、「業容拡大したいが人材不足である」また「若干落ち着いて来た円相場に期待する」といった声もあった。また、世界的な原油高に対する懸念に加え、今後の消費税の増税による経済の先行きを不安視する声も多くあった。尚、今回の調査について、震災当時の昨年3月との比較に疑問を呈する声も複数あった。

3か月先見通しは、製造業、非製造業ともに悪化を見通している。

■全産業の主要4項目DI値

	業況	売上	採算	資金繰り
3月末時点	12.1	15.2	0.0	7.0
12月末時点	-19.0	-17.8	-22.6	-4.3
前回比	31.1	33.0	22.6	11.3

■全産業の業況

業況	3月末時点	12月末時点
良化	40.4	23.9
悪化	28.3	42.9
DI値	12.1	-19.0
前回比	31.1	11.7

■3月末時点からみた

全産業の業況3か月先の見通し

業況3か月先見通し	
良化	14.9
悪化	26.0
DI値	-11.1

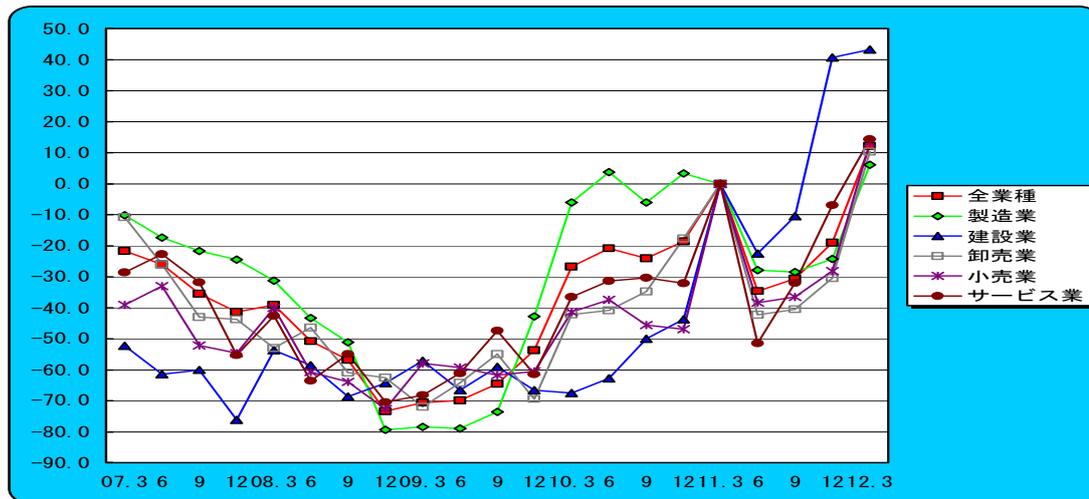
■製造業の業況

業況	3月末時点	12月末時点
良化	37.6	19.5
悪化	31.6	43.7
DI値	6.0	-24.2
前回比	30.2	4.3

■非製造業の業況

業況	3月末時点	12月末時点
良化	43.0	27.8
悪化	25.1	42.1
DI値	17.9	-14.3
前回比	32.2	18.5

■業種別業況DI値推移グラフ



<製造業>

業況DI値	
今回	6.0
先行き	-16.2
前回比	30.2

業況・売上・採算で改善、資金繰りでわずかに改善を示した。
 業種別にみると業況は「食料品」「酒造」「印刷」「窯業・土石」「金属」「輸送用機器」で大幅改善、「織物」「縫製」「木材・木製品」で改善、「一般機械」「電気機器」「精密機器」でわずかに改善を示した一方で、「ニット」「鉄鋼・非鉄」「プラスチック」で悪化を示した。
 3か月先見通しは、業況・売上で悪化、採算・資金繰りでわずかに悪化を見通している。
 業種別にみると業況は「鉄鋼・非鉄」で改善、「縫製」はわずかに改善、「織物」「ニット」「一般機械」は横ばいを見通している一方で、「食料品」「精密機器」「プラスチック」の業況はわずかに悪化、「木材・木製品」「窯業・土石」「金属」「電気機器」は悪化、「酒造」「印刷」「輸送用機器」は大幅悪化を見通している。
 「FA関連の需要が好調」「円高が落ち着いたので今後に期待」「経費・人件費全てを見直し、採算は良化」といった声の他に、「採算はとれていないが、現状は忙しい」「発注元の海外移管が今後も加速してくる」また「人材不足だが求人しても全く応募が無い」といった声もあった。

対象企業	375
回答企業	234

自由意見

- | 自由意見 | 業種 |
|--|----------|
| ○ とにかく人が足りません。求人募集しても応募がこない。 | 【食料品】 |
| ○ 夏の電力不足を考慮して、稼働は前年並。 | 【食料品】 |
| ○ 原発事故の風評被害が大きい。 | 【食料品】 |
| ○ 福島県産では消費者が買わないと思いますので、生産だけでなく販売業も先行き不透明です。 | 【食料品】 |
| ○ 4月からの放射能基準の変更が気になります。 | 【食料品】 |
| ○ 人材が不足がみである。 | 【食料品】 |
| ○ 先行きが不透明。 | 【食料品】 |
| ○ 風評被害がまだある。 | 【食料品】 |
| ○ 1昨年の震災特需が春よりあったので、昨年比では消費の落ち着きにより悪化予想。また原油高の影響で、資材関係が4月より値上げで、原価上昇で利益率の低下が懸念される。 | 【酒造】 |
| ○ 経費・人件費等全てを見直し、採算は良化した。 | 【織物】 |
| ○ 現在は安定しているが、昨年の震災以来の在庫が有り、今年の春夏物の生産をストップして在庫品を販売しようといった計画もある。 | 【縫製】 |
| ○ 増産体制に入りたいが復興支援事業等に人材を取られていて、増員出来ない。 | 【縫製】 |
| ○ 放射線量の意識が強く、流出者が増え、入居者が減少しているために建築需要がない。 | 【木材・木製品】 |
| ○ 原発事故による風評被害で、県外の個人客への販売数はなかなか回復しない。 | 【木材・木製品】 |
| ○ 震災特需が出ているが、業況は不安定なバランスで推移している。借入金残高のある中小零細企業や、被災影響の大きい中小零細企業は非常に厳しい状況にある。 | 【木材・木製品】 |
| ○ 昨年の3月は、この震災でもう会社はダメかと思いましたが、何とか持ち直し、それからは良くなって来ました。 | 【印刷】 |
| ○ 昨年の3月は地震の為、対前年で6割以上のマイナスでしたので、それと比べれば良くなっていますが、前々年と比べると激減しております。 | 【印刷】 |
| ○ 人手不足。 | 【窯業・土石】 |
| ○ 震災復旧工事の発注が遅れ気味で今後の需要は見込めるものの、稼働状況が把握できない。はっきりした発注計画が見えないため、人員・車両とも確保が難しい。 | 【窯業・土石】 |
| ○ 3ヶ月先の予想は、現状の受注環境のままでは悪化すると思います。弊社では、新規受注体制を昨年より取り組んで、売上上昇に向けて努力中です。 | 【金属】 |
| ○ 4月からが心配でなりません。受注、販売単価共に急激に悪化しています。 | 【金属】 |
| ○ 原発事故による避難で、弊社ばかりでなく、南相馬市全体で人材不足となっている。 | 【一般機械】 |
| ○ 発注企業が海外へシフトする傾向がある。 | 【一般機械】 |
| ○ 円高が少し落ち着いたので今後に期待したい。 | 【一般機械】 |
| ○ 仕事は県内の業者を優先すべきでは。 | 【一般機械】 |

- スマホ需要を主としたFA関連受注が好調で助かっています。
県復興元年に少しでも寄与したく頑張りたいと思います。懸念材料としては原油高の影響です。 【電気機器】
- 自社努力では対応困難な状況が続くと思われれます。 【電気機器】
- 恒久的な円高対策が実行されない限り、国内産業空洞化は進行し続けると思う。 【電気機器】
- 新年度4月から始まりです。今年度も前期に比べて良くなる予想です。 【電気機器】
- 3ヶ月先予想一やや悪化という内容です。前年3月は、震災の影響です。先行き不透明感を拭きません。 【輸送用機器】
- 海外生産へのシフトが今後も加速し、あと数年で生産品の内容が変わると予想される。また、原油、電気電力(夏期)等、
諸費用の上昇による採算の悪化も懸念される。 【輸送用機器】
- 受注単価及び販売価格の下落が厳しいのと、油脂類、電気料金等のコストアップが苦しい。 【輸送用機器】
- 増税、TPPの展望、燃料高、復旧の遅れ、何を見ても悪化する要素が無いのは、大変残念です。 【精密機器】
- 販売単価の下落に加え、コストの上昇が厳しい。 【プラスチック】
- 円高の影響で海外移管が続いている。 【プラスチック】
- 採算はとれないが、業務多忙。 【プラスチック】
- 風評不安による販売先の需要控えによる受注減。 【プラスチック】

＜建設業＞

業況DI値	
今 回	43.2
先行き	15.9
前回は	2.6

業況で横ばい、売上・採算、資金繰りでわずかに改善を示した。
業種別にみると「土木」は業況でわずかに改善、売上・採算・資金繰りで横ばいを示し、
「建築」は業況で横ばい、採算で改善、売上・資金繰りでわずかに改善を示した。
3か月先見通しは業況・売上・採算で悪化、資金繰りでわずかに悪化を見通している。
業種別では「土木」は同様に業況・売上・採算で悪化、資金繰りでわずかに悪化を見通し、
「建築」では業況・資金繰りでわずかに悪化、売上・採算で悪化を見通している。
「原油高の影響が大きい」「業種的に復興需要があるが、先行きは不透明」といった声があった。

対象企業	66
回答企業	44

自由意見

建設業

- 原油高の影響が大きい。 【土木】
- 建設業界は目の前の仕事に追われているが、住宅ではハウスメーカーが新築物件を多く手掛けており、地元の工務店はそこまで手が廻らない。このままでは反動で数年後の需要に不安を感じる。 【建築】
- 業種的に復興需要がありますが、先行きは全く以て不透明です。 【建築】
- 仕事がある様に見えるが、実際は地域の実になっていない様な気がする。地域にとって有効な方策が望まれる。 【建築】

＜卸売業＞

業況DI値	
今 回	10.3
先行き	-1.4
前回は	40.7

業況・採算・売上で改善、資金繰りでわずかに改善を示した。
業種別にみると、「衣服」「飲食料」は業況・採算・資金繰りで改善、売上で大幅改善、「青果物」「機械器具」は業況・売上で大幅改善、「鮮魚」は業況で大幅改善、売上で改善、「建築材料」は業況・売上でわずかに改善、採算・資金繰りで改善を示した。
3か月先見通しは、業況・売上・資金繰りでわずかに悪化、採算で悪化を見通している。
業種別にみると、「飲食料」は業況・売上・採算で改善、「青果物」は業況・売上・資金繰りでわずかに改善を見通したが、「衣服」は業況・売上で横ばい、採算・資金繰りでわずかに悪化、「鮮魚」は業況で悪化、売上・採算・資金繰りで横ばいを見通し、「機械器具」は業況・売上・採算で大幅悪化、資金繰りで悪化、「建築材料」は業況・売上・採算・資金繰り全てで悪化を見通している。
「復興需要で市内の業況は良好」「震災避難者による人口増で一過性売上増」という声の他に、「工業製品の流通は依然として厳しい」「昨年よりは売上は上がったが、一昨年と比較すれば悪化」という声もあった。

対象企業	115
回答企業	68

自由意見

卸売業

- 震災避難者の成人人口増により、一過性的売上増が認められます。 【衣服】
- 昨年の3月4月は震災の影響で売上は減少しましたが、今年は良くなったと言っても前々よりも悪化していますので悪化の状態です。 【衣服】
- 原発事故により、相双地区の売上げがなくなった。 【衣服】
- 原発事故の風評被害による溪流釣、山菜採り及びスキューターの減少、高速道の無料化でR121号線の交通量減となり、今後も色々な形で被害は続くと思われる。 【青果物】
- 原発事故にともなう風評被害、除染対策の具体的支援が必要なのは。 【青果物】
- 原発事故で船も休みで水揚げなし。 【鮮魚】
- 震災復旧や年度末で売上は上昇しておりますが、4月以降は現在の景気動向のままでは3ヶ月先予想は悪化を見通しています。 【機械器具】
- 復興特需で市内の業況は良好化しています。 【建築材料】
- 工業製品の流通は依然として厳しい状況。 【その他】

<小売業>

業況DI値	
今回	13.3
先行き	-10.8
前回比	-28.2
対象企業 141	
回答企業 83	

小売業>

業況・売上・採算で改善、資金繰りでわずかに改善を示した。
業種別にみると「大規模店」は業況・売上・採算・資金繰りの全てで大幅改善、「自動車販売」「その他」は業況・売上・採算で大幅改善、資金繰りで改善、「家具・建具」は業況・売上・採算・資金繰りの全てでわずかに改善、「衣料」は業況・採算で改善、売上で大幅改善、
「飲食料」「家電品」は業況・売上で改善を示したのに対し、「中小スーパー」では業況でわずかに改善も、売上・資金繰りで悪化、採算でわずかに悪化を示している。
3か月先見通しは、業況・売上で悪化、採算・資金繰りでわずかに悪化を見通している。
業種別にみると「中小スーパー」は業況・採算・資金繰りで改善、「家電品」は業況で改善、売上でわずかに改善も、採算・資金繰りで悪化を見通し、「自動車販売」は業況・売上・採算・資金繰りの全てで悪化、「家具・建具」「大規模店」は業況・売上で悪化、「衣料」は業況で大幅悪化、売上・採算で悪化、「飲食料」は業況で悪化、売上・採算・資金繰りでわずかに悪化を見通している。
「相変わらず風評被害が多く、客足は減少」「原発事故による農作物へのダメージと、避難による人口減少で経済縮小」という声がある反面、「思った以上に好環境でますます」「まだまだ復興支援需要は続いている」といった声や、「このまま消費税増税になっても、内税として価格に転嫁できない」といった声もあった。

自由意見

小売業

- 相変わらず風評被害が多く、客足は減少している。 【中小スーパー】
- 原発事故の影響で、子供達が外で行動することが少なくなり、結果的にはきもの、衣類の消耗が抑えられたことが、売上減少の原因かと思う。また、近くに大規模店舗が出店した事により、客の目線が町内の小売店から離れてしまっている。 【衣料】
- 原発事故による予想以上の風評被害により当地域住民の経済力が低迷し、それによる消費の自粛や節約は、深刻な大問題である。 【衣料】
- 消費税の引き上げがあれば内税として売価へ転嫁することがますます困難になる。 【衣料】
- 昨年3月は震災のため、比較にならない。一昨年対比では弱手悪い。 【衣料】
- 甚大な風評被害を受けている状況です。 【飲食料】
- まだまだ復興支援が続いています。 【飲食料】
- 消費者の心理としては、買物は必要最小限に、といった感じがする。 【飲食料】
- 首都圏の出先事務所などの減少、人員の移動等によるお客様の減少等が止まらず、売上減が大きい。 【飲食料】
- 全体的には良くなっています。4月後半までに店内の改装が終れば、また若干良化するのでは。 【飲食料】
- 原発事故による農業収入悪化に加え、避難による人口減少で地域経済縮小が懸念される。 【家電品】
- 資金借入をしないで、なんとかお店をやっています。当社指名でご購入頂いているお客様が多く、大変助かっています。 【家電品】
- 商品の動きは全く無く、設置工事等はあるものの、修理依頼は無し。修理工賃や部品より、新製品のほうが安い為。 【家電品】
- 思ったよりも好環境にある。若干資金繰りに不安はあるが、まずまずである。 【家電品】
- 前年3月は地震・津波・原発事故のため休業あり。現在は災害特需のためか、業績は順調に進んでいる。 【家具・建具】
- 不動産、テナント賃貸業、それと特に事業所関係は、売上が落ちると額が大きく、なかなか埋まらない。厳しい。 【家具・建具】
- 今後の見通しと動向が、読みにくくなっている。将来への不安が大きくなってきている。 【その他】

<サービス業>

業況DI値	
今回	14.3
先行き	-23.2
前回比	21.2
対象企業 103	
回答企業 56	

業況・売上で改善、採算・資金繰りでわずかに改善を示した。
業種別にみると「運送」は業況でわずかに改善、売上・採算・資金繰りで改善、「その他」は業況・売上で大幅改善、採算・資金繰りで改善、「情報サービス」は業況・売上で横ばい、採算で改善、資金繰りでわずかに改善を示したのに対し、「観光旅館」は業況・売上で改善ながら、採算・資金繰りでわずかに悪化、「自動車整備」は業況でわずかに改善、採算・資金繰りでわずかに悪化、「タクシー」は業況でわずかに悪化、売上・採算・資金繰りでは悪化を示した。

3か月先見通しは業況・売上・採算・資金繰りの全てで悪化を見通している。
業種別にみると「自動車整備」「情報サービス」は共に業況・売上・採算・資金繰りの全てで悪化を見通し、「タクシー」も業況・売上・採算・資金繰りの全てでわずかに悪化、「観光旅館」は業況・採算で悪化、売上で大幅悪化、「運送」は業況・採算・資金繰りで悪化、売上でわずかに悪化を見通している。
「風評被害が無くなり、落ち着くまでに時間がかかる」「ガソリン高で移動距離のコスト増」という声や、「風評被害を何とか克服すべく、努力していきたい」「業容拡大のため増員したいが適正な人材がいらない」といった声があった。

自由意見

サービス業

- 業況は良くないが、売上高をはじめとして、今後も良くなるよう自助努力をしていく。 【旅館・ホテル】
- 前年同月比で「良化」であっても、この状況では将来の事業継続に不安が拭えない。 【旅館・ホテル】
- 風評被害を何とか克服すべく、努力して参りたいと思います。 【旅館・ホテル】

○ 原発事故の風評被害で入込客数の減少による売上の低迷で困っています。	【旅館・ホテル】
○ 風評被害がなくなり、落ち着くまでかなり時間がかかりそうです。	【タクシー】
○ 原発事故で輸送量が減少、軽油が値上りしてコスト増。	【運送】
○ 軽油高に不安を感じています。	【運送】
○ 荷物の動きは活発で、車両が足りない状態ですが、軽油価格の高騰により、採算がとれない状況です。	【運送】
○ 風評被害は未だ収まりそうになく輸送量も減少している中、年明け早々から燃料が一気に高騰、加えて高速道路無料措置も3月末で打ち切りになったため、採算が悪化している。	【運送】
○ 昨年3月は原発事故でほぼ1カ月ムダにした。今年は従業員が2割減ったが売上がトントンでなんとかなっている。	【自動車整備】
○ ガソリン価格の高騰で移動距離のコスト増。	【情報サービス】
○ 業容拡大のため増員したいが、適正な人材が確保できないている。求人してもなかなか適確者がいない。	【情報サービス】
○ 原発事故の影響は会津には関係ないと言われていますが、やはり風評被害はあり、入出はあるものの売上に結びつかない。	【その他】